



ほほえみ

中原区在住のご利用者様より お寄せいただきました

正弘（94歳） 静子（90歳）、夫婦でよく、迄来られたものと。自画自讃しているこの頃です。

2年前の或る日、町会のMさんに久しぶりでお会いした時、「お二人揃って元気に過ごされて居るのは、この町会ではお二人が最高齢です。どうぞ気を付けてご機嫌よう。」と声を掛けられました。今迄気にもしなかった私達もこんな年迄元気で居られる事に深い感動を覚え、更に亢進しようと勇気付けられました。

平成27年9月、日医大病院を退院する際、すぐ自宅に戻り療養生活するには介護の申請手続きを取り、訪問看護を受ける様になりました。

週に2回、看護師の方が体調を管理し、お風呂に入れて下さり、肌に薬をぬったり、爪を切ったり、話の相手になったり…。病人ではなく高齢者なりの明るい普通の生活が出来る様になりました。

別に週2回「レコードブック」と云うりハビリ型デイサービスに通うようになりました。お迎えの車で千年にある

会場に行き、平均80歳位の高齢者が18人位で午後の部が始まります。各部分の筋肉の強化の運動や脳トレゲーム、会話を楽しむお茶のひと時、等プログラムをこなし自宅迄送って下さいます。

若いスタッフがやさしく安全に心身リフレッシュ出来る様、見守って下さり、とても気に入って欠かさず出掛けます。

また、ケアマネジャーさんには今後の事についても色々提案して頂けるのが大変心強く思います。

2年前には大病でこれ迄と思われた命も最新治療で生き延び、介護の皆さんのお陰で今日があると思います。目標だったオリンピック観戦も出来る令和二年（2020年）になりました。

全てに感謝で残り人生を楽しく寿命まで寝たきりにならない事が私共の願望です。

TOKYO OLYMPICS



正弘様、静子様と大石ケアマネジャー、訪問看護ステーション井田の岩井さん



ご利用者様の了承を得て掲載しました

川崎市看護協会ケアプランセンター
主任介護支援専門員 大石 建
昨年の10月に協会内3ヶ所ある居宅介護支援事業所を統合し、半年が経過しました。少しずつ病院や地域包括支援センターから新規の相談を頂けるようになり、中原区を拠点として、宮前区、高津区と毎日奔走しております。
大正から昭和、平成、令和と生き抜いてこられた正弘様と、ご家族が住み慣れたご自宅で安心して、元気に、楽しく、暮らせる日々をお過ごしいただけるよう、お手伝いさせていただきます。
これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

わたしたち 訪問看護師のとある一日を 紹介します



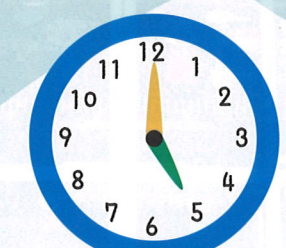
夜も当番が電話で待機します



今日の訪問は終了です
また明日訪問します



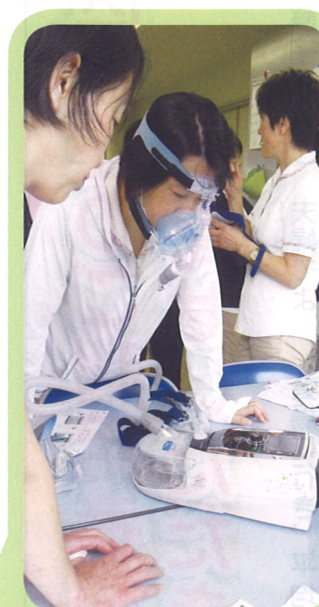
朝のミーティングの後、
自転車や車で出発です
「行ってきます」



事務所に戻ったら
電話連絡や事務作業
洗濯をして翌日に
備えます

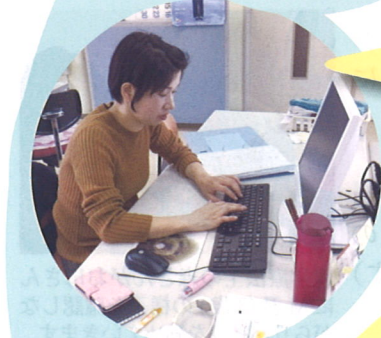


休日には講師を招いて
研修も行います



医療機器や
介護用品の勉強会も
定期的に行います

「おはようございます」
まずは血圧測定しながら
1週間のご様子を確認し
ます。
「体調はいかがですか」



ご自宅で点滴も
管理します



関節が硬く
ならないように
足のリハビリです



薬の管理や
ご家族への介護相談にも
応じています



午後の訪問スタート
「気を付けて行ってきます」
「忘れ物はないかな」



楽しいランチタイム。
時にはスタッフ
手作りのおかずも登場



入浴後ご家族では
ケアが困難な巻き爪も
きれいにカット



傷などないか、
お肌もチェック



お風呂に入れなくても
ベッドの上で
洗髪のお手伝い
「気持ちいいですね」



訪問看護ステーション紹介

向丘訪問看護ステーション

宮前区平1-1-35 アイレックス宮前102
☎044-870-0361

訪問看護ステーション井田

中原区井田2-27-1
(川崎市立井田病院敷地内)
☎044-751-6711

かわさき南部
訪問看護ステーション

川崎区宮前町4-8 志田ビル1階
☎044-222-3713

かわさき
訪問看護ステーション

中原区今井上町1-34 和田ビル3F
☎044-733-8123

新

川崎市看護協会ケアプラン
センター<居宅介護支援>

中原区今井上町1-34 和田ビル3F
☎044-733-8125

公益社団法人
川崎市看護協会事務局

中原区今井上町1-34 和田ビル3F
☎044-711-3995

編集後記

コロナウィルスに翻弄される日々が続いています。しっかり食べてしっかり眠ってたくさん笑って免疫を落とさないように一人一人が体調管理に努めていきましょう。春の花が咲き、気持ちの良い季節になってきましたので早く安心して出掛けられる日が1日もはやく来ることを願って・・・

ほほえみ編集委員会

村上・小笠原・下山・渡部

川崎市中央療育センターに見学に行ってきました

<看護師：村上>



川崎市中央療育センターは子育てや生活に支援が必要な0～18歳のお子さんをサポートする施設です。ソーシャルワーカーが相談窓口となり療育や専門的支援を考えていきます。

地域支援、通園、診療所、心理、リハビリテーション（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、入所など多職種のスタッフが支援してくれます。

かわさき訪問看護ステーションで訪問しているM君のリハビリに同席させていただきました。



リハビリを受ける前に小児科医の問診（診察を受ける日もあります）

理学療法士の森さんがお母さんにM君(3歳)の様子を確認しながらリハビリを勧めています



理学療法士（PT）がM君の体調チェックを行いリハビリテーションスタート。

まずは仰向きになり筋肉をほぐしていきます。次は座る姿勢の練習。この時も足裏や手の平を宙に浮かさない事などが姿勢の自覚に繋がるとの事でした。

約40分間のリハビリテーションの中で、実際の生活での姿勢やトレーニングなどM君の成長に合わせたアドバイスが行われていました。お母さんも生活の中での姿勢のとり方などを聞いて日常生活にとり入れています。

お子さんは成長に合わせて在宅から生活の場である地域へ活動が広がりリハビリテーションや通園など多職種が関わるサービスがスタートしていきます。地域と在宅で関わる多職種が連携を密にすることで、より継続した成長、発達へのサポートができます。

今回の見学にご協力いただきましたM君のご家族、川崎中央療育センターの理学療法士の森さんに感謝申し上げます。